

法学入門

「児童虐待と法」から「こども法」へ

大村敦志 (東京大学 法学部 教授)

ISBN : 978-4-904702-35-2 / Cコード 3032 / 本体価格 : 2200円 / 四六判・並製・横組 / 136頁

高校を卒業したばかりの人、あるいはこれから法を学ぼうという人に向けた、
民法学の第一線研究者による「法と法学」の入門書

- Part 1 「〈児童虐待と法〉から」では、「児童虐待」という一つの社会問題を切り口に、「法」と「社会」の両方の側から「法という現象」を解説・分析し、同時に、法学という学問について理解を深める。
- Part 2 「〈こども法〉へ」では、いま現在、私たちが生きるこの国で行われている立法について考え、児童虐待だけに限らず「こども」に関する法を全体としてとらえ、「法の歴史」の中で「現在」を、「法の体系」の中で「こども」を、それぞれにつかみだそうと試みる。
- 法というものを通じて、私たちの生きる時代や社会を理解し、そのあり方について考えていく際のとがかりを提示する。
- コラム「高校からの法学」も収録

目次

はじめに——法と法学の学習案内

Part 1 「児童虐待と法」から

第1章 児童虐待への法的対応

第2章 児童虐待防止法の社会的背景

Part 2 「こども法」へ

第3章 いま、法と法学は

第4章 こども法の構想

補論 2011年の民法改正について

あとがき——この本の先へ

付録 児童虐待・こども関連法令集

コラム「高校からの法学」

著者紹介 大村敦志 (おおむら あつし)

1958年、千葉県生まれ。1982年、東京大学法学部卒業。現在、東京大学法学部教授。専門は民法。契約法、消費者法、家族法を中心に研究。主な著書に、『民法総論』(岩波書店、2001)、『生活民法入門』(東京大学出版会、2003)、『基本民法1・2・3 (第2版)』(有斐閣、2005)、『他者とともに生きる——民法から見た外国人法』(東京大学出版会、2008)、『18歳の自律』『22歳+への支援』(共著、いずれも羽鳥書店、2010、2011)『民法改正を考える』(岩波新書、2011)、ほか多数

(株) 羽鳥書店

〒113-0022 東京都文京区千駄木 5-2-13-1F (営業・糸日谷) TEL 03-3823-9320 FAX 03-3823-9321

| 番線印 | | 書名 | 著者 | 本体価格 | ISBNコード | 冊数 |
|------|------------|---------------------------|-------|--------|-------------------|----|
| 新刊委託 | | 法学入門 「児童虐待と法」から「こども法」へ | 大村 敦志 | 2,200円 | 978-4-904702-35-2 | |
| | 返条付 注文扱 | 憲法入門 | 長谷部恭男 | 2,200円 | 978-4-904702-05-5 | |
| | | 憲法の急所 | 木村 草太 | 2,800円 | 978-4-904702-26-0 | |

- 配本の都合上10月18日までに返信ください。お願いします。
- 取引卸・取次 : 日販・大阪屋・八木書店・明文図書・大学図書
- トーハン・栗田・太洋社ほかの取次帳合書店様にも納品いたします (返品条件付注文扱い)

ご担当者名